黒岩探訪（たんぼう）

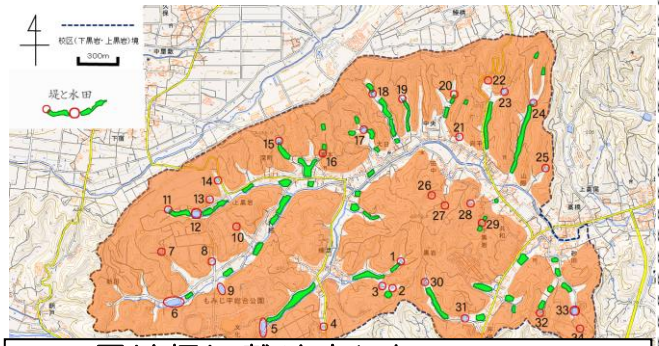
10

KUROIWA くろいわ

黒岩つつみ 及び 谷津（やつ） 2

黒岩探訪９の続きです。図は前号又はウェブ版を参照してください。

黒岩地区には、甘楽用水などの農業用水は引かれていません。そこで水田の用水はすべて天水（雨水）を利用することになります。雨不足の年は大きく影響を受けることになり、古くは龍骨と言われたオオツノシカの化石骨も雨乞いのために利用された話も残されています。



この図は仮に載せました。
「黒岩小ウェブページの校長室より」
又は前号の「黒岩探訪９」の大きい図
を参照してくださるようお願いします。

今年も、小規模の堤を利用している水田は、六月下旬にまとまった雨が降るまで、田んぼの代かきができなくて困ったという話を聞きました。

さて、社会情勢が大きく変わる現在、堤や水田の管理・継続も難しくなってきているようです。今回、校区内の谷津を回って見て、現在でも比較的多くの耕地が水田として利用されている谷津を三つあげてみます。

一つ目は、５の堤を利用する機足の谷津です。公園の調整池を兼ねているかわかりませんが、水量が安定しているようで、黒岩地区内では早いうちに田植えが済みました。

二つ目は、「かくし谷津」の伝説やホタル祭りが行われる24の山際の谷津です。コンクリート製の水路はなくて、水口も簡易的な造りでした。（おかげでホタルも生きられます。）堤は大きくなく降水量に左右されやすい谷津です。

三つ目は、宮本です。西に15に東に16と二つの堤がありますが、主は15のようです。下流域は棚田のように広がっています。

他の谷津もウェブページ版（黒岩小学校ホームページ校長室よりの中）に掲載しますのでご覧ください。

写真１　堤【5】機足 6/24

写真２　機足の水田 6/24

写真３　堤【24】山際 7/6

写真４　山際の水田 7/6

写真５　堤【15】宮本 7/7

写真６　宮本の水田 7/7

写真７　宮本の水田 7/7

写真８　宮本の水田 7/7

（日付は撮影日）